

令和4年度大学院入学試験問題（所要時間60分）

博士後期課程 仏教学専攻 宗学コース A 一般（長期履修含む）・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	専 門	評 点	
----------	--	--------	--	--------	-----	--------	--

【設問資料】

Blank area for the question material, mostly obscured by a grey box.

著作権上の都合により非公開

1、設問資料をもとに、次の問に答えなさい。

- (1) 本書の①『昭和定本日蓮聖人遺文』における遺文名、②執筆年次、③宛先について、記しなさい。
- (2) 設問資料のA「」の部分、現代語訳しなさい。
- (3) 本書が執筆されるに至った状況について記しなさい。

2、次の項目から一つ選び解説しなさい。

- (1) 比企谷門流 (2) 永祿の規約 (3) 四箇格言 (4) 不受不施

令和4年度大学院入学試験問題（所要時間60分）

博士後期課程 仏教学専攻 仏教学コース A 一般（長期履修含む）・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	専 門 ①サンスクリット語（梵語）	評 点	
----------	--	--------	--	--------	-------------------------	--------	--

【辞書使用可】

問題 次の文章は『法華経』(Saddharmapuṇḍarīka-sūtra) 信解品 (Adhimukti-parivarta) 中の一節である。

文章を読んで設問に答えなさい。(提出用の解答用紙は別紙。なお、連声により音が変化している場合があるので注意すること。)

evam eva bhagavan vyaṃ tathāgatasya putra-pratirūpakās tathāgataś
 cāsmākam evaṃ vadati putrā mama yūyam iti yathā sa gṛha-patiḥ /
 vyaṃ ca bhagavaṃs tiṣṭbhir duḥkhatābhiḥ saṃpīditā abhūma /
 katamābhis tiṣṭbhir yad uta duḥkha-duḥkhatayā saṃskāra-duḥkhatayā
 vipariṇāma-duḥkhatayā ca saṃsāre ca hīnādhimuktikāḥ /
 tato vyaṃ bhagavatā bahūn dharmān pratyavarān saṃskāra-dhāna-saḍṣān
 anuvicintayitāḥ /

問1 下線部 (1) (5) (6) (7) (9) (10) (12) の各語の 語幹、格・数・性、意味を記しなさい。(略号を用いてよい) (配点：5×7= 35点)

解答例：nadīnām → nadī-, G. pl. f. (または「女性・複数・属格」)「諸河川の」

問2 下線部 (3) (8) の動詞の 語根、法・時制、人称・数・態、意味を記しなさい。(略号を用いてよい)。(配点：10×2= 20点)

解答例：nayaṣi → √nī-, Indic. Pres. 2. sg. P. (または「直説法・現在時制、二人称・単数・バラスマイバダ」)「(君が) 導く」

問3 下線部 (2) (4) (11) は連声 (sandhi) による音変化を起こしたものである。それぞれ連声を起こしていない形に直しなさい。

解答例：(yady api となっているとき →) yadi api (配点：5×3= 15点)

問4 問題文の要旨を述べなさい。(配点：30点)

令和4年度大学院入学試験問題（所要時間60分）

博士後期課程 仏教学専攻 仏教学コース A一般（長期履修含む）・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	専 門 ①サンスクリット語（梵語）	評 点	
----------	--	--------	--	--------	----------------------	--------	--

【辞書使用可】

解答用紙

問1 下線部 (1)(5)(6)(7)(9)(10)(12) の各語の 語幹、格・数・性、意味を記しなさい。（略号を用いてよい。）（配点：5×7＝35点）

解答例： nadīnām → nadī-, G. pl. f.（または「女性・複数・属格」）「諸河川の」

- (1) tathāgatasya
- (5) yūyam
- (6) gṛha-patiḥ
- (7) tiṣṭbhir
- (9) duḥkha-duḥkhatayā
- (10) saṃsāre
- (12) dharmān

問2 下線部 (3)(8) の動詞の 語根、法・時制、人称・数・態、意味を記しなさい。（略号を用いてよい。）（配点：10×2＝20点）

解答例： nayasi → √nī-, Indic. Pres. 2. sg. P.（または「直説法・現在時制、二人称・単数・バラスマイバダ」）「（君が）導く」

- (3) vadati
- (8) abhūma

問3 下線部 (2)(4)(11) は連声（sandhi）による音変化を起こしたものである。それぞれ連声を起こしていない形に直しなさい。

解答例：（ yady api となっているとき → yadi api）（配点：5×3＝15点）

- (2) cāsmākam
- (4) putrā mama
- (11) tato vyaṃ

問4 問題文の要旨を述べなさい。（配点：30点）

令和4年度大学院入学試験問題（所要時間60分）

博士後期課程 仏教学専攻 仏教学コース A 一般（長期履修含む）・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	専 門 ②漢文	評 点	
----------	--	--------	--	--------	---------------	--------	--

（2枚中1枚目）

〔I〕次の文章A～Dは、佛馱跋陀羅訳『華嚴経』「十地品」における、第二地（離垢地）に関する数節である。これを読み、下記の問いに答えなさい。

著作権上の都合により非公開

掲載文章の原典は、高楠順次郎 編『大正新脩大蔵経』第9巻（大正一切経刊行会 刊、昭和2年）、

Aは、p. 548下段21行目「菩薩住離垢地」～p. 549上段9行目「生決定心」、

Bは、p. 549上段9行目「菩薩如是常護善道」～26行目「求一切智」、

Cは、p. 549中段22行目「菩薩復作是念」～29行目「如實法中」、

Dは、p. 549下段26行目「是諸衆生深心貪著」～p. 550上段9行目「大慈悲心」。

なお、問2の「下線部」は、Dのp. 550上段1行目「常隨四倒」～同2行目「侵害」。

問1 A～Dを参考に、〈三聚淨戒〉について説明しなさい。

問2 下線部について、語釈を行いつつ、前後の関係部分と併せ説明しなさい。

【以下、解答欄（裏面も使用可）。問の番号を付して記載すること。】

令和4年度大学院入学試験問題（所要時間60分）

博士後期課程 仏教学専攻 仏教学コース A 一般（長期履修生）・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	専 門 ②漢文	評 点	
----------	--	--------	--	--------	------------	--------	--

（2枚中2枚目）

【Ⅱ】次は『梁高僧伝』所収の釈曇始伝である。これを読み、下記の問いに答えなさい。

著作権上の都合により非公開

掲載文章の原典は、高楠順次郎 編『大正新脩大蔵経』第50巻（大正新脩大蔵経刊行会／大蔵出版 再刊、昭和35年）、
p. 392中段3行目「釋曇始」～下段7行目「始後不知所終」。

なお、問2の「下線部」は、p. 392中段19～20行目「太平」～「佛法」。

問1 釈曇始の事績について概述しなさい。

問2 下線部が述べていることについて、問題文全体の叙述もふまえて説明しなさい。

【以下、解答欄（裏面も使用可）。問の番号を付して記載すること。】

令和4年度大学院入学試験問題（所要時間60分）

博士後期課程 仏教学専攻 A一般(長期研修含む)・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	英 語	評 点	
----------	--	--------	--	--------	-----	--------	--

【辞書使用可、電子辞書も可】

下記の英文を読んで、その概要を書きなさい。

著作権上の都合により非公開

【出典：Hirakawa Akira, translated and edited by Paul Groner, *A History of Indian Buddhism - from Śākyamuni to Early Mahāyāna*, Motilal Banarsidass, Delhi, 1933, 66頁本文下から7行目～67頁上から17行目まで】

【用語：*saṅgha* 僧伽、*upādya* 和尚、the precepts platform 戒壇、*raho'nisāsaka ācārya* 教授師、*pārājika* 波羅夷罪（性行為、盗み、殺生、大妄語）、*karma kāraka- ācārya* 羯磨師、four supports (*niśraya*) 四依】

令和4年度大学院入学試験問題（所要時間60分）

博士後期課程 仏教学専攻 宗学コース A 社会人（長期履修含む）

受験 番号		氏 名		科 目	専 門	評 点	
----------	--	--------	--	--------	-----	--------	--

【設問資料】

著作権上の都合により非公開

Ⅰ、設問資料をもとに、次の問に答えなさい。

(1) 本書の①『昭和定本日蓮聖人遺文』における遺文名、②執筆年次、③宛先について、記しなさい。

(2) 設問資料のA「」の部分を、現代語訳しなさい。

(3) 本書が執筆されるに至った状況について記しなさい。

Ⅱ、次の項目から一つ選び解説しなさい。

(1) 六条門流 (2) 寛正の盟約 (3) 大仏千僧供養会 (4) 本勝迹劣

令和4年度大学院入学試験問題 (所要時間60分)

博士後期課程 仏教学専攻 宗学コース C 一般(長期履修含む)・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	専 門	評 点	
----------	--	--------	--	--------	-----	--------	--

1. 設問資料をもとに、次の問に答えなさい。

(1) 本書の①『昭和定本日蓮聖人遺文』における遺文名、②執筆年次、③執筆地について、記しなさい。

①

②

③

(2) 設問資料のA「 」の部分を、句読点をほどこして判読しなさい。

(3) 日蓮聖人は自らをどの様に位置付けたのか、本書の全体並びに執筆年次を考慮して記しなさい。

1. 次の項目から一つ選び解説しなさい。(選択した項目の番号に○印をつきなさい)

(1) 小川泰堂 (2) 日向門流 (3) 仏性院日興 (4) 天文法難

著作権上の都合により非公開

著作権上の都合により非公開

令和4年度大学院入学試験問題（所要時間60分）

博士後期課程 仏教学専攻 仏教学コース C 一般（長期履修含む）・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	専 門/解答用紙 ①サンスクリット語（梵語）	評 点	
----------	--	--------	--	--------	---------------------------	--------	--

【辞書使用可】

解 答 用 紙

問1 下線部 (1)(3)(4)(6)(7)(8) の各語の、語幹、格・数・性、意味を記しなさい。(略号を用いてよい。)(配点：5×6＝30点)

解答例：nadīnām → nadī-, G. pl. f. (または「女性・複数・属格」)「諸河川の」

- (1) Prabhūtaratnas (= Prabhūta-ratnaḥ)
- (3) bhagavataḥ
- (4) Śākyamunes (= Śākya-muneḥ)
- (6) samyaksambuddhasya
(= samyak-sambuddhasya)
- (7) siṃhāsane (= siṃha-āsane)
- (8) 'rdhāsanam (= ardha-āsanam)

問2 下線部 (9)(11)(12) の動詞の 語根、法・時制、人称・数・態、意味を記しなさい。(略号を用いてよい。)(配点：10×3＝30点)

解答例：nayasī → √nī-, Indic. Pres. 2. sg. P. (または「直説法・現在時制、二人称・単数・バラスマイバダ」)「(君が) 導く」

- (9) adāsīt
- (11) vadati
- (12) niṣīdatu

問3 下線部 (2)(5)(10) は、それぞれ 連声 (sandhi) による音変化を起こしたものである。

連声を起こしていない形に直しなさい。(配点：5×3＝15点)

解答例：(yady api となっているとき →) yadī api

- (2) tathāgato 'rhan
- (5) tathāgatasyārḥataḥ
- (10) tasyaiva

問4 問題文の要旨を述べなさい。(配点：25点)

令和4年度大学院入学試験問題（所要時間60分）

博士後期課程 仏教学専攻 仏教学コース C 一般（長期履修含む）・留学生

受験 番号		氏 名		科 目	専 門 ②漢文	評 点	
----------	--	--------	--	--------	---------------	--------	--

1. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

著作権上の都合により非公開

掲載文章の原典は、高楠順次郎 編『大正新脩大藏経』第12巻（大正一切経刊行会 刊、大正14年）、

p.990 下段 27～28 行目「爾時世尊告千世界主那羅延菩薩」（括弧書き）、

p.991 下段 8 行目「復次那羅延」～ p.992 上段 16 行目「入集一切福德三昧」。

なお、問2の「下線部」は、p.991 下段 18 行目「非想非非想處」。

問1 この文章の大意を述べなさい。

問2 下線部の語について、説明しなさい。

2. 次の贊寧撰『僧史略』における「菩薩僧」の記述を読み、下記の問いに答えなさい。

著作権上の都合により非公開

掲載文章の原典は、高楠順次郎 編『大正新脩大藏経』第54巻（大正一切経刊行会 刊、昭和3年）、

p.252 下段 17 行目「菩薩僧」～ p.253 上段 16 行目「觀此思事」。

問1 この文章の大意を述べなさい。

問2 この「菩薩僧」の史的背景について、説明しなさい。

【以下、解答欄（裏面も使用可）。いずれも問題番号を明記して解答すること。】

令和4年度大学院入学試験問題 (所要時間60分)

博士後期課程 仏教学専攻 C一般(長期履修含む)・留学生

受験番号		氏名		科目	英語(解答用紙)	評点	
------	--	----	--	----	----------	----	--

【辞書使用可、電子辞書も可】

II. 次の英文を訳しなさい。(40点)

著作権上の都合により非公開

※bhūmi「地」 *Buddhāvataṃsaka* = *Buddhāvataṃsakasūtra* 華嚴經

(出典: Hajime Nakamura, *Indian Buddhism*, Motilal Banarsidass, Delhi reprint, 1987, 198頁第2パラグラフ、本文9行目~11行目の *Buddhāvataṃsaka* まで。)

著作権上の都合により非公開

(出典: Hajime Nakamura, *Indian Buddhism*, Motilal Banarsidass, Delhi reprint, 1987, 199頁第2パラグラフ、本文8行目~10行目まで。)

①

②

令和4年度大学院入学試験問題 (所要時間60分)

博士後期課程 仏教学専攻 宗学コース C 社会人(長期履修含む)

受験 番号		氏 名		科 目	専 門	評 点	
----------	--	--------	--	--------	-----	--------	--

一、設問資料をもとに、次の問に答えなさい。

(1) 本書の①『昭和定本日蓮聖人遺文』における遺文名、②執筆年次、③執筆地について、記しなさい。 _____

① _____

② _____

③ _____

(2) 設問資料のA「」の部分を、現代語訳しなさい。 _____

(3) 日蓮聖人は自らをどの様に位置付けたのか、本書の全体並びに執筆年次を考慮して記しなさい。 _____

二、次の項目から一つ選び解説しなさい。(選択した項目の番号に○印をつけなさい) _____

- (1) 日陣門流 (2) 寛正の盟約 (3) 常楽院日経 (4) 正祖化導記
- _____
- _____
- _____
- _____

設問資料

著作権上の都合により非公開

